

# 鋳工業

## 鋳工業生産の動き

平成24年の鋳工業生産指数の年平均は108.5（平成22年=100）で、対前年比18.4%の増加となりました。

これを業種別に対前年比で見ますと、輸送機械工業69.2%、電子部品・デバイス工業35.1%、プラスチック製品工業33.9%、その他製品工業24.8%、繊維工業17.3%、電力事業12.0%、非鉄金属工業11.9%、家具工業9.9%、金属製品工業9.3%、生産用機械工業6.1%、食料品工業3.0%、石油・石炭製品工業1.5%、窯業・土石製品工業0.8%、ゴム製品工業0.4%、とそれぞれ上昇しました。一方、鋳業△0.9%、鉄鋼業△1.4%、電気機械工業△1.9%、木材・木製品工業△1.9%、業務用機械工業△3.3%、パルプ・紙・紙加工品工業△3.3%、はん用機械工業△4.5%、化学工業△8.4%、情報通信機械工業△78.4%、とそれぞれ低下しました。

図22 鋳工業生産者製品在庫指数

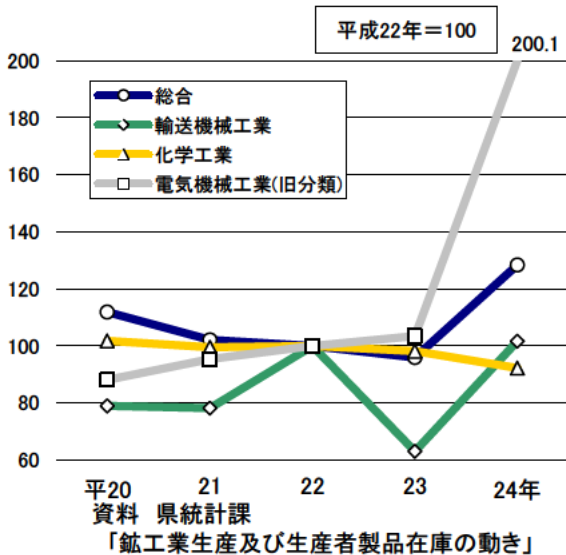
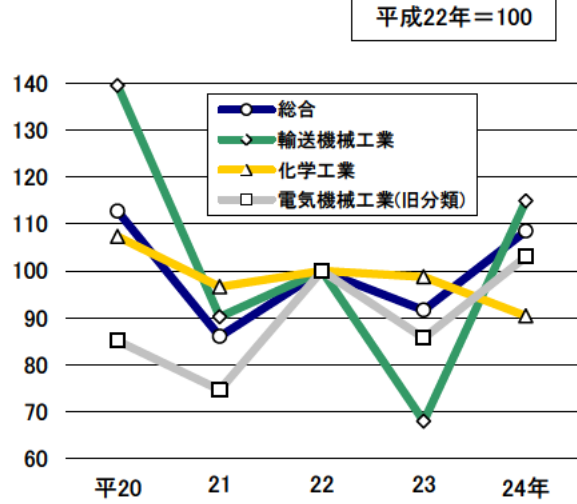


図21 鋳工業生産指数



資料 県統計課 「鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き」

また、平成24年鋳工業生産者製品在庫指数の年平均は128.4（平成22年=100）で、対前年比33.9%の増加となりました。

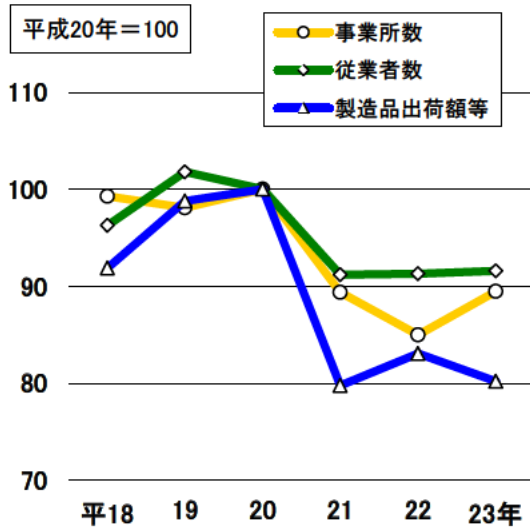
これを業種別に対前年比で見ますと、電気機械工業（旧分類）93.3%、鉄鋼業90.9%、プラスチック製品工業78.9%、金属製品工業61.9%、輸送機械工業61.4%、家具工業35.1%、パルプ・紙・紙加工品工業31.9%、非鉄金属工業19.3%、石油・石炭製品工業18.2%、ゴム製品工業11.9%、繊維工業6.0%、木材・木製品工業4.4%、はん用・生産用・業務用機械工業2.0%、とそれぞれ上昇しました。一方、鋳業△1.9%、窯業・土石製品工業△3.6%、化学工業△6.1%、食料品工業△8.0%、その他製品工業△17.1%、とそれぞれ低下しました。

## 平成24年経済センサスー活動調査結果

### (1) 概況

平成24年2月1日現在の事業所数は4,192事業所、従業者数は19万930人、製造品出荷額等は9兆4,157億円となっています。前年と比べると、事業所数は209事業所（5.2%）増加、従業者数745人（0.4%）増加、製造品出荷額等は3,490億円（3.6%）減少しました。

図23 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



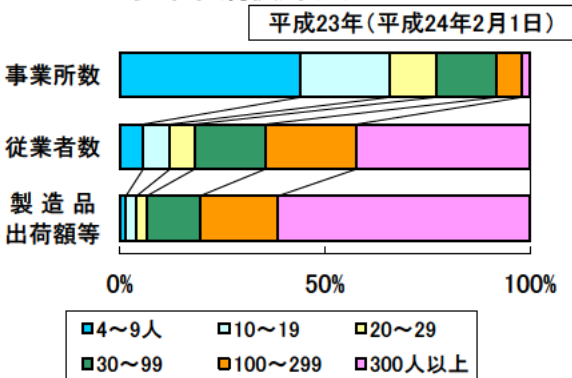
資料 県統計課「三重の工業」

(2) 従業者規模別にみた工業のすがた

平成24年2月1日現在の事業所数、従業者数及び平成23年の製造品出荷額等を従業者規模別で見ると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者4～9人の小規模事業所が構成比で全体の44.1% (1,847事業所) を占めていますが、従業者数では全体の5.7% (10,952人)、製造品出荷額等では同1.6% (1,462億3,371万円) を占めているにすぎません。

これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で2.0% (84事業所) ですが、従業者数では全体の42.3% (8万727人)、製造品出荷額等では同61.4% (5兆7,777億8,822万円) を占めています。

図24 従業者規模別状況



資料 県統計課「三重の工業」

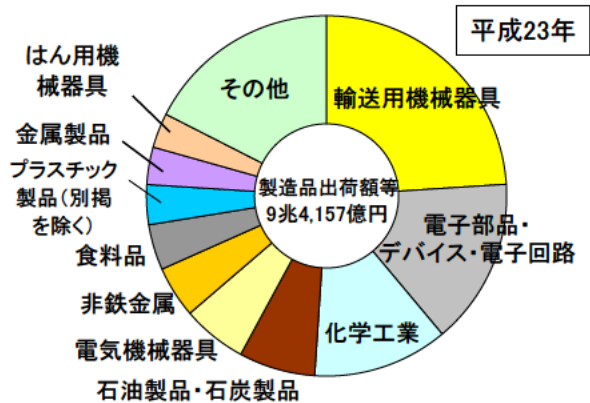
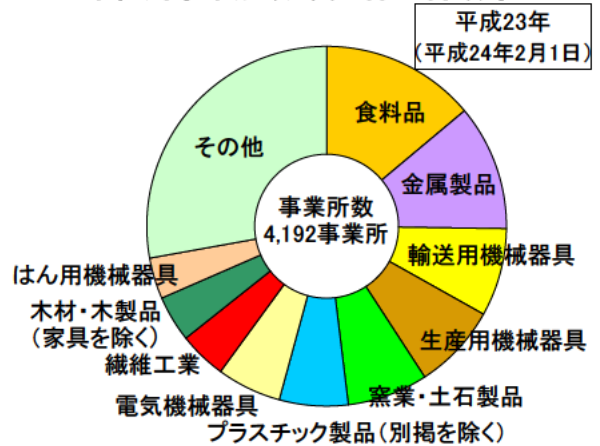
(3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では食料品製造業の占める割合が13.9% (583事業所) で最も高く、次いで金属製品製造業が11.3% (474事業所)、輸送用機械器具製造業が7.9% (332事業所) などとなっています。

従業者数では、輸送用機械器具製造業21.0% (4万138人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業10.4% (1万9,798人)、食料品製造業8.8% (1万6,839人) などとなっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が24.0% (2兆2,571億円) と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が14.9% (1兆4,061億円)、化学工業12.1% (1兆1,438億円) などとなっています。

図25 業種別事業所数・製造品出荷額等



資料 県統計課「三重の工業」